

□議員名：藤岡修美

## 1 公共施設の利用予約（文化・スポーツ）について

論点	本市公共施設（文化・スポーツ）の予約方法について聞く。
回答	不二輸送機ホールの予約は、使用開始予定日の1年前の同日から、市民館は使用開始予定日の一月前から、事前の周知が必要な催しなどについては、6カ月前から受付をしている。体育施設については、先着順という形で使用開始予定日の一月前から受付している。

論点	公共施設（文化・スポーツ）の予約状況について聞く。
回答	不二輸送機ホールの研修室は約8割、楽屋が約7割、大ホールは5割弱、小ホールは5割強の使用率である。市民体育館の使用率はほぼ10割で、弓道場もほぼ10割、武道館は約9割、小野田運動広場が8割強である。

論点	公共施設予約システムの導入について聞く。
回答	本市では窓口での申請書の提出をもって、施設の使用を承諾しているが、他市の運用状況も参考にしながら、導入に伴う費用対効果、利用者の利便性向上の効果等を踏まえ、施設予約システムの導入について研究していく。

## 2 都市計画マスタープランについて

論点	上位計画である山口県都市計画区域マスタープランとの整合性について聞く。
回答	市の都市計画マスタープランの改定に当たり設置した改定委員会の委員に、県都市画課の職員が参加しており、整合性が図れるよう審議している。

論点	上位計画である山陽小野田市総合計画との整合性について聞く。
回答	計画期間を第2次総合計画と同じ令和11年までとしており、第2次総合計画の基本理念、住みよい暮らしの創造、将来都市像、活力と笑顔あふれるまち、これを都市計画の分野から実現化していくことを目指して、都市づくりの基本理念、基本方針を設定している。

論点	計画策定における市民参画の状況について聞く。
回答	18歳以上の市民2,000人を対象としたアンケート調査や市内高校2年生を対象とした方向性アンケート調査を実施した。また市内を小野田、高千帆、厚狭、埴生の4つの地域に分けワークショップを実施し、地域ごとの現況意向を把握した。

論点	現況と課題の改定点について聞く。
回答	公共施設の統廃合、市街地整備、道路整備、護岸整備や河川改修などの防災施設整備などは進んでいるが、人口減少や少子高齢化社会に対応したコンパクトなまちづくりや防災への対応などの課題については、10年前と同様で課題として、特に改定した点はない。

論点	まちづくりの基本目標の改定点について聞く。
回答	都市づくりの基本理念として、安心・安全、快適便利な都市をつくる。地域の個性や支援を生かした都市をつくる。この2本の柱だったものを安心・安全と快適便利、それがそれぞれ協調できるように分割し、3つの柱と設定している。

論点	全体構想の改定点について聞く。
回答	将来都市構造の商業集積拠点として、小野田駅前を追加し、おのだサンパークから公園通りまでを一体的にしている。また、きらら交流館に位置づけていた文化交流拠点を外し、竜王山公園ときららビーチ焼野周辺を一体的なレクリエーション拠点とした。

論点	地域別構想の改定点について聞く。
回答	小野田地域では、おのだサッカー交流公園周辺でのサービス機能の充実や、山口東京理科大学周辺の居住環境の形成を追加し、厚狭地域では、都市拠点の土地利用方針を厚狭駅周辺まちづくり構想に基づき進めること、埴生地域では、埴生地区複合施設を核としたまちづくりを記述した。

論点	実現化方策の改定点について聞く。
回答	新たに関連計画策定の項を追加し、集約型都市構想の実現に向けた計画の検討や景観計画の策定について示した。